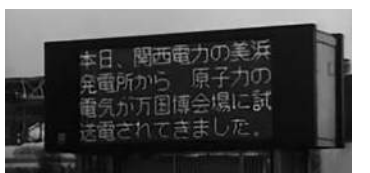


関電新聞

関西電力グループ
power with heart
2021
No.1062

YOU'S
新広報誌YOU'S[ユーズ]発刊
閲覧は下のボタンから!
こちらをクリック



▲ 美浜発電所1号機 大阪万博会場へ試送電

の灯を！の合言葉を実現させた。その後、高浜発電所、大飯発電所の運転を開始。原子力のパイオニアとして歩み始めた。

創業70年を迎えて 先人から受け継ぐ関電魂

2021年5月1日、関西電力は創立70周年という節目を迎えた。節目を迎え、関西電力の歴史を年表や写真とともに振り返っていく。

70年の歴史を振り返ると、関西電力は長い年月の中を、様々な時代の要請に応え、時には逆境を乗り越えながら進んできたことがわかる。

一昨年には金品受取り問題等が発覚し、また、現在は、新型コロナウイルス感染症が世界を襲う中、関西電力グループが置かれる環境は不確実である。

これまで幾度となく逆境を乗り越えてきた先人たちのように、我々もこの環境を生き抜くための努力を惜しまず全社一丸となって立ち向かい、新たな関西電力を創出し、これからも関西電力グループの歴史を紡ぎ続けていかなければならない。

関西電力 森本社長からのコメント

創立70周年という節目を迎え、当社の歩みを振り返ると諸先輩方が様々な難局に立ち向かい、乗り越えてきた歴史、まさに「変わらぬ使命のために変わり続けた歴史」を感じています。

当社を取り巻く環境は、コロナ禍を含め、思いもよらない事象が生じ、また目まぐるしいスピードで変化しています。そうした環境下において、私たちが進むべき道を考え、新たに経営理念を策定し、持続的に成長を遂げるため、中期経営計画に取り組んでいます。

お客さまや社会にとっての「あたりまえ」を守り、創るため常に変わり続ける、新たな関西電力グループの未来をともに切り拓いていきたいと思います。



▲ 初代社長 太田垣士郎



▲ 「関西電力」開業通知のチラシ

1951 関西電力の誕生

経済成長に伴い電力需要が急増。1951年、九電力会社の発足とともに関西電力が創立。初代社長の太田垣士郎は、「経営の三大方針を定める」とともに、「前垂れ掛けの精神」を提唱。

1956 くろよん建設

世界でも類を見ない難工事と言われる中、7年間の歳月、延べ100万人の労力、総工費51.3億円（当時の資本金の5倍をかけ）、一世代のプロジェクトを完遂。



1995 阪神・淡路大震災 早期復興への挑戦

1995年、阪神・淡路大震災が関西を襲った。家屋やビルの倒壊、道路の断裂等、一瞬にして関西の日常は奪われた。260万軒もの停電が発生したが、15.3時間後に応急送電を完了。



1998 海外事業への進出

1998年、日本の電力会社として初めて海外の発電事業（フィリピン共和国サンロケ水力発電プロジェクト）に参画。挑戦のスピリットを体現することで、関西電力II関西の会社という常識を覆す。



「関西電力グループ中期経営計画2021-2025」を策定。関西電力グループは、ゼロカーボン社会実現に向けた取り組みをリードすることも、様々な事業分野にも挑戦し、新たな創生を目指す。

2020 2020年代とこれから

2019年に金品受取り問題等が発覚し、関西電力は社会からの信頼を大きく失った。

2020年、再発防止に向けた業務改善計画を策定し、ガバナンス改革、コンプライアンスの徹底等の施策を実行。2021年には、新たな経営理念「あたりまえ」を守り、創る、「関西電力グループ中期経営計画2021-2025」を策定。関西電力グループは、ゼロカーボン社会実現に向けた取り組みをリードすることも、様々な事業分野にも挑戦し、新たな創生を目指す。

関西電力の歩み

- 1951**
 - 関西配電と日本発送電が合併して関西電力が発足
 - 初代社長：太田垣士郎氏が「前垂れ掛けの精神」提唱
- 1954**
 - 原子力発電の研究開始
- 1956**
 - 黒部川第四発電所(くろよん)の建設開始
- 1963**
 - 黒部川第四発電所(くろよん)の稼働開始
- 1967**
 - 美浜発電所1号機建設工事着工
- 1970**
 - 大阪万博の会場に美浜発電所より試送電
 - 美浜発電所1号機 営業運転開始
- 1973**
 - 第一次オイルショックの発生、電力不足に
 - 石炭火力からLNG火力への切り替え
- 1974**
 - 高浜発電所1号機 営業運転開始
- 1979**
 - 大飯発電所1号機 営業運転開始
- 1980's**
 - 電力会社初のTQC(総合的品質管理)導入
- 1988**
 - 配電線自動運用システムの全社導入開始
- 1991**
 - 美浜発電所2号機
 - 蒸気発生器伝熱管損傷事故の発生
- 1995**
 - 阪神・淡路大震災発生
- 1998**
 - 77kV明石海峡橋断線竣工
 - 国内電力会社初の海外発電事業であるフィリピン共和国「サンロケ水力発電プロジェクト」参画
- 2000**
 - 電力部分自由化スタート
 - オール電化メニュー「はぴeプラン」のサービス開始
- 2001**
 - 500kV基幹系統のループ運用開始
- 2004**
 - 美浜発電所3号機2次系配管破損事故の発生
- 2005**
 - 社達「『安全の誓い』の日について」制定
- 2008**
 - 国内初となる新計量システム「スマートメーター」の導入開始
- 2009**
 - 「はぴeみる電」のサービス開始
- 2010**
 - 堺太陽光発電所が営業運転開始
- 2011**
 - 関西電力初となるプルサーマルによる発電を開始(高浜発電所3号機)
 - 東日本大震災発生 東京電力福島第一原子力発電所事故
 - 管内全てのお客さまに15%の節電要請の実施
- 2012**
 - 関西電力の全原子力発電所が停止
 - 再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始
 - ㈱関電エネルギーソリューションが首都圏にて電力供給事業開始
 - ㈱ケイ・オプティコム(現㈱オプテージ)が低価格スマートフォンサービス「mineo」の提供開始
- 2015**
 - 姫路第二発電所全基、世界最高水準高効率コンバインドサイクル発電方式への設備更新完了
- 2016**
 - 新規基準の施行後関西電力で初めて、高浜発電所3号機が再稼働
 - 電力小売全面自由化スタート
 - 首都圏での新料金メニュー「はぴeプラス」の提供開始
- 2017**
 - ガス小売全面自由化スタート
- 2018**
 - 「なっくパック」の提供開始
 - 大阪府北部地震発生
 - 台風21号により広域停電
 - 関電トンネルトrolleyバスが約54年間無事故で引退
- 2019**
 - 金品受取り問題等が発覚
- 2020**
 - 再発防止に向けた業務改善計画を提出
 - 関西電力送配電事業開始
- 2021**
 - ゼロカーボンビジョン2050策定
 - 新たな経営理念「Purpose&Values」、「関西電力グループ中期経営計画2021-2025」策定

1970 原子力の発展

美浜発電所1号機から大阪万博の会場への試送電に成功。万博に原子

2004 美浜発電所3号機事故とその教訓



▲ 「安全の誓い」の石碑

してはならない」という決意を胸に「安全最優先」の事業活動を経営の最優先課題としてグループ一体となって展開している。

2004年8月9日、美浜発電所3号機で2次系配管が破損する重大事故が発生。二度とこのような事故を起こさぬことを誓う。



▲ 経営理念

原子力40年以降運転を解説

関西電力では、原子力発電所の40年以降運転に向け、様々な対策に取り組み、原子力発電所の安全性のたゆまぬ向上に取り組んできた。5月12日には、美浜発電所3号機（以下、美浜3号機）および高浜発電所1、2号機（以下、高浜1、2号機）の運転方針を決定。美浜3号機は7月27日に本格運転予定（5月28日時点）

認可を受けた場合、最大60年まで延長できる運転期間延長認可制度があり、高浜1、2号機および美浜3号機は運転期間延長の認可を受けている。

※1 2013年7月東京電力福島第一原子力発電所事故を教訓として改訂された基準。従来の規制基準から地震・津波の対策に加え、火山・竜巻・森林火災を強化するとともに、放射性物質の拡散抑制などのシビアクシメント対策や意図的な航空機衝突を踏まえたテロ対策の項目が新設（図1）

本記事では、原子力発電所の40年以降運転に向けた取り組み等について、改めて解説していく。

40年を超える原子力発電所の取り組みについて

【高経年化対策】

安全上重要な設備の部品一つひとつに対して、日々のメンテナンスや定期検査の結果等を踏まえ、今後の劣化状況を評価し、安全性を確認している。また、大型機器やポンプ、配管等、取り替えられるものは積極的に取替えを行い、取替えが難しい設備（原

子炉格納容器、原子炉格納容器、コンクリート構造物）は通常のメンテナンスに加え、設備の劣化状況を把握するための特別点検を行い、問題がないことを確認している（図2）

【自主的な安全性向上対策（例）】
操作性やメンテナンス性の向上の観点から、中央制御盤を従来のアナログ式からタッチパネルのディスプレイや大型表示装置を採用したデジタル式に取替え。また、重大事故等の対応に係る要員の待機・宿泊場所等で使用するために免震事務棟を設置。

美浜3号機および高浜1、2号機の運転方針について

【例1】

●美浜3号機では、既存の高台（盛土）に代えて地震に耐えうる鉄骨およびコンクリート造の構台を設置。（写真①）

●高浜1、2号機では、重大事故時の原子炉格納容器からの放射線量を低減し、屋外作業における被ばく低減を図るため、原子炉格納容器の上部にドーム状の鉄筋コンクリート造の遮へいを設置。（写真②）

※2 工程については、作業や検査の進捗状況等により、今後変更となる場合がある。

高浜2号機

引き続き、安全性向上対策工事と特定重大事故等対処施設工事を安全最優先で進め、工事完了後に再稼動することとする。

【高浜1号機】
5月14日から燃料装荷を開始し、その後、燃料装荷することで実施できる自主的な点検等を行い、各種機器の健全性を確認。なお、特定重大事故等対処施設の設置期限である6月9日には冷温停止状態にする必要があるため、原子炉起動には至らないが、引き続き、特定重大事故等対処施設工事を安全最優先で進め、工事完了後に再稼動することとする。

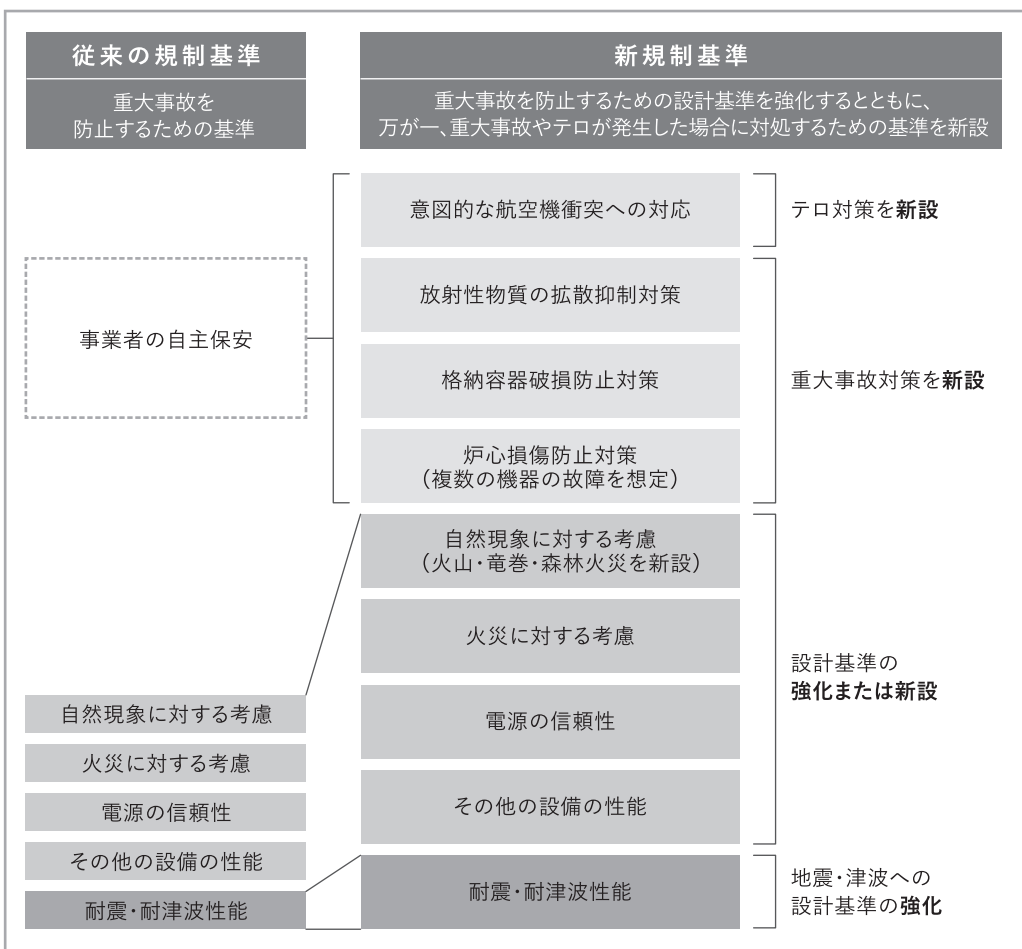
【美浜3号機】
5月20日から燃料装荷を開始し、6月23日に原子炉起動、その後並列、7月27日には総合負荷性能検査を行い、本格運転を再開する予定。（※2 また、原子炉起動までに総点検等を行い、トラブルの未然防止を図る。なお、特定重大事故等対処施設が、設置期限である10月25日までに完成しないことから、同日までに冷温停止状態にすることとしている。

【今後に向けて】
関西電力は、高浜1、2号機および美浜3号機の再稼動に向けて、安全を最優先に緊張感を持って進めるとともに、関西電力の取組内容について立地地域をはじめ社会の皆さまのご理解を賜りながら、引き続き、稼動中の原子力プラントの安全・安定運転に努めていく。

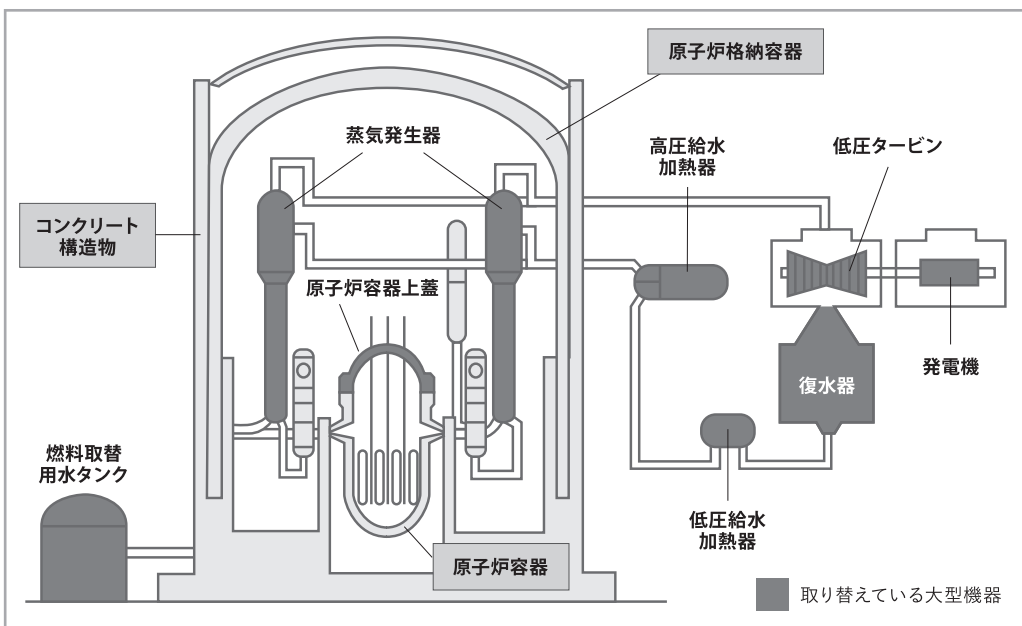
40年以降運転の必要性

エネルギー資源に乏しい日本においては、特定の電源に頼るのはリスクが高く、さまざまな電源の特徴を理解したうえで、バランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」が大切となる。「エネルギーミックス」を考えるうえで重要となるのが「安全確保（Safety）」を大前提に、「エネルギーの安定供給（Energy security）」「経済性（Economy）」「環境保全（Environmental conservation）」の「S+CE」の同時達成。関西電力としても、「S+CE」のバランスに優れた原子力発電の果たす役割は大変大きく、また、安全の確保、技術・人材基盤の維持の観点からも、将来に亘って原子力発電を一定規模確保することが必要であり、これを実現するために、安全性の確認された40年を超える原子力発電所の運転が必要だと考えている。また、2020年10月26日、菅

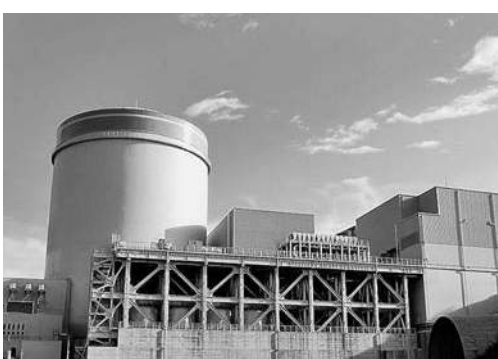
義偉首相は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロとし、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。関西電力も、2021年2月に「ゼロカーボンビジョン2050」を策定し、持続可能な社会の実現に向け、ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、発電事業をはじめとする事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロすることを発表した。この達成にもカーボンフリーの原子力発電は重要な力ギを担う。



▲新規規制基準のイメージ（図1） 原子力規制委員会 HP掲載資料を基に作成



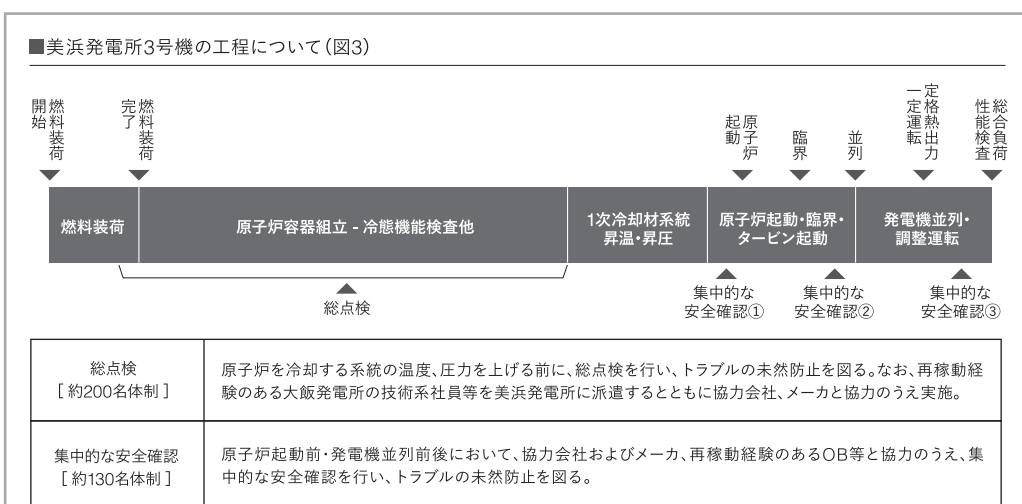
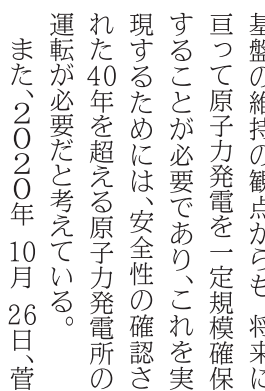
▲設備取替えイメージ（図2）



▲美浜発電所3号機（写真①）



▲手前から高浜発電所1、2号機（写真②）



※工程については、作業や検査の進捗状況等により、今後変更となる場合がある。

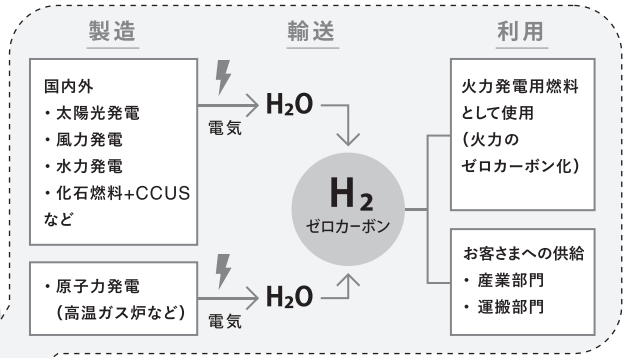


水素社会の実現に向けて

水素事業の「今」を深掘り！

水の電気分解や化石燃料の改質等、様々な資源から作ることができ、使用してもCO₂を排出しないカーボンフリーのエネルギーとして期待されている水素。日本だけでなく世界で水素社会の実現に向けた取り組みが始まっている。関西電力グループが2月に発表した「ゼロ

カーボンビジョン2050」でも、取り組みの柱の一つとして「水素社会への挑戦を掲げている。今回は、水素社会を目指す水素事業の「今」を深掘りするとともに、今年5月に新たに立ち上げられた、関西電力の水素事業戦略室について紹介する。



- 水素バリューチェーン推進協議会 (JH2A)**
- 目的: 水素社会の早期構築
 - 活動: 業界横断の社会実装プロジェクトの提案・調整、水素需要創出、規制緩和等の政策提言
- 神戸・関西圏水素利活用協議会**
- 目的: 大規模水素利用を見据えた事業モデルの検討
 - 活動: 関西圏における水素利活用の事業モデル検討、水素利活用モデルの社会実装に向けたロードマップ作成、国や自治体への政策提言

※1: 水素バリューチェーン推進協議会 (JH2A)、神戸・関西圏水素利活用協議会等に参画
 ※2: NEDO受託「我が国における水素発電導入可能性に関する調査」(2018 - 2020)を実施

水素社会への挑戦

水素はゼロカーボン社会の実現のために必要不可欠なエネルギーであることから水素社会の実現に大きな役割を果たせるよう非化石エネルギーを活用したゼロカーボン水素の製造・輸送・供給・発電用燃料としての使用に挑戦します。

当面の重点取組み



- 国内**
 - 再エネ・原子力等による製造PJへの参画
- 海外**
 - 競争力のある水素調達先の探索
 - 海外水素製造PJへの参画
- 共通**
 - 各種協議会への参画※1、国内外の事業者との関係確立
 - 水素関連の新技术を保有するベンチャー等との連携・協業
- 発電**
 - 火力発電所を活用した水素発電※2
- 運輸**
 - 需要の拡大を見据えた、顧客・他事業者等との関係確立

2050年に向けた取組み

- 再エネおよび原子力の電気を活用した水素製造
- 原子力の熱を活用した水素製造
- エネルギー事業者としての水素サプライチェーンの確立に向けた取組み
- 火力における発電用燃料としての水素の使用
- 熱需要への対応などを必要とされるお客さまへの水素等の供給

▲(参考)水素事業戦略室のリーフレット 電子版は[こちら](#)をクリック!

現状の社会の動き

2017年12月26日に政府が策定した「水素基本戦略」では、すでに2050年を視野にいたった、将来目指すべきビジョンや2030年までの行動計画が示されており、水素を「カーボンフリーなエネルギー」の新しい選択肢の一つとして位置づけ、政府全体として取り組んでいくことを定めている。さらに経済産業省は「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定し、脱炭素社会の実現に向けた切り札として、重点分野の一つに水素を掲げた。

水素社会実現までの課題

水素社会の実現には、「水素製造・輸送・貯蔵・利用」の各プロセスにおいて、いくつもの技術課題がある。

- ゼロエミッションの実現に欠かせないグリーン水素やブルー水素(※3)等を安定的かつ低コストに生産するための技術
- 水素を安全かつ大規模に輸送し、貯蔵するための技術
- 大量の化石燃料を使用している運輸部門や火力発電分野での利用技術

これらの技術確立に向けて、様々な取組みが進められているところである。

※3 太陽光や風力等の再生可能エネルギーの電力を使って水の電気分解によってCO₂を排出せずに製造する水素を「グリーン水素」、天然ガスや褐炭といった化石燃料を改質して水素を製造し、その過程で発生するCO₂を回収・貯留(CCS)した場合にブルー水素と呼ばれる。

なお、現在の水素生産の主流であるグレー水素は「ブルー水素」の製造過程で発生したCO₂をそのまま放出しているため今後削減されていく見通し。

水素事業に関する関西電力(水素事業戦略室)の取組み

日本の水素消費量は、現在200万t程度だが、政府としては2050年

水素事業戦略室の2名にインタビュー!

には2000万t規模(※4)になると想定している。関西電力でも将来の水素関連の事業化に向けた戦略・実証判断等を一元的に担う部署として、2021年5月に水素事業戦略室を設置。今後は、水素社会の実現に大きな役割を果たせるよう非化石エネルギーを活用したゼロカーボン水素の製造・輸送・供給や発電用燃料としての使用に挑戦し、水素事業のリーディングカンパニーを目指す。

水素事業戦略室 戦略グループインタビュー!

○水素事業戦略室 戦略グループ
永田 麻那美さん

これまでは、国際事業本部での海外投資案件の運営管理業務や、原子燃料サイクル室でのウラン燃料の調達契約業務に従事してきました。

元々クリーンエネルギーに関心があり、脱炭素ビジネスのキャリアアチャレンジに手を挙げていたので、今回、ゼロカーボン社会の実現に向けて重要な水素事業に携わることができ、嬉しく思っています。

現在は、海外からの水素調達に携わっている中で、部門を越えて知見をお持ちの方々に協力をお願いできつつ、これまでの経験を活かして、水素サプライチェーン構築に向けて貢献していきたいと考えています。

○水素事業戦略室 技術開発グループ
佐治 奈萌子さん

以前所属していた火力事業本部の開発部門では、先日活動レポートを発表した神戸・関西圏水素利活用協議会の活動や、水素発電事業の実現可能性調査に向けた準備・社内調整等に携わっており、現在の業務でもその経験を活かしています。

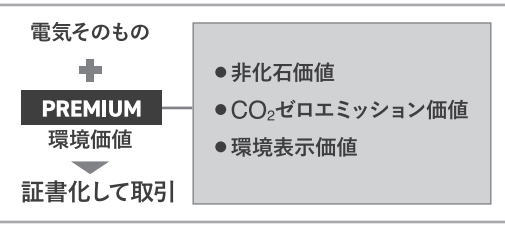
火力燃料として水素を利用するためには、技術面や調達面にまだまだ多くの課題があります。これらの課題を一つずつ解決し、これまでの机上検討から実際に形にしていける一翼を担えることに喜びを感じるとともに、責任感を持って取り組んでいきます。

「非化石証書」とは?

脱炭素への取組み

使用電力の100%を再生可能エネルギー電源から調達するRE100に代表されるように、環境負荷の低い電気を使いたいという企業や消費者のニーズが高まっている。消費者自身が太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入する方法のほか、「非化石証書」等証書化された「環境価値」を組み合わせた電気の購入も一般化してきた。

非化石証書とは



電気が持つ「環境価値」(図1)

CO₂排出の少ない、再生エネ(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等)や原子力といった非化石電源には、電気そのものの価値に加え、環境価値が付随する。非化石証書とは、これらの環境価値を、非化石電源で発電された電気から切り離して証書にしたものである。小売電気事業者が購入する非化石証書には、3種類存在するがその他には消費者が直接購入できる証書も存在する。(図2)

- 小売電気事業者が購入する非化石証書
- ① FIT非化石証書
 - ② 非FIT非化石証書(再生エネ指定あり)
 - ③ 非FIT非化石証書(再生エネ指定なし)
- 企業や団体等の消費者が直接購入できる証書
- J-クレジット
 - グリーン電力証書

(図2)

再生エネ指定の非化石証書を購入し、電気と組み合わせることで供給することにより、どのような発電方式の電気であったとしても実質的に再生エネの電気を供給していることみなすことが、2018年から国の制度として認められるようになった。また、これと同時に小売電気事業者が非

化石証書を調達しやすいうように「非化石価値取引市場」が創設された。

非化石証書の目的

非化石証書を買戻す大きな目的は、非化石電源を安定的に普及させることである。非化石証書付き料金プランに加入することで、非化石電源を実質的に利用していることになり、CO₂の排出削減に貢献することができるとして、冒頭に述べた「環境負荷の低い電気を使いたい」という企業や消費者のニーズにも応えることができるのだ。

そして副次的な効果として期待されるのは、消費者の再生エネ賦課金に対する負担の軽減、ならびに発電事業者の非化石投資の促進である。再生エネ賦課金(再生可能エネルギー発電促進賦課金)とは、再生エネの普及促進のために、電気を発生している

地域エネルギー本部 脱炭素ソリューションG発足

2021年1月29日、お客さまに脱炭素経営に関する様々なサービスを提供するため、ソリューション活動を強化するための体制を整備する「脱炭素ソリューショングループ」が関西電力地域エネルギー本部に発足した。主な業務内容としては脱炭素ソリューション戦略、アライアンス、国内外ソリューションの検討、政策動向など情報収集、法人のお客さまへのコンサルティング等である。

脱炭素ソリューショングループはこれからは、ゼロカーボンソリューションプロバイダーとしてお客さまのゼロカーボン化の取組みを支援し、脱炭素社会の実現に貢献する役割を担っていく。

例えば、法人のお客さまのESGの取組みはグローバルレベルのもとで運用、評価されることも多いが、日本の法令との違い等、お客さまの関心やご理解状況に応じ、関西電力グループの知見を活かしてコンサルティングすることで、



▲ エネルギー・環境企画室、火力事業本部、国際事業本部等出身の多彩なメンバー

全消費者の毎月の電気代に、使用量に応じて加算されている料金のことであるが、電力会社が再生エネを固定価格買取制度(FIT)で買い取るほど、消費者の負担が大きくなる(※)ことが問題だった。しかし、非化石証書の売買によって生まれた収益の一部はこの賦課金に充てられる(※)再生エネを固定価格で購入するための費用として使われる。ため、消費者の負担軽減につながる。また、非化石証書の売買によって生まれた収益の一部は、発電事業者へ帰属するため、非化石電源の維持・促進にもつながることになる。

今後、CO₂削減に向けて、非化石電源によって発電された電気のニーズはさらに高まっていくだろう。現在、それら企業からのニーズも踏まえて、非化石証書の最低価格の見直し、消費者による直接購入、トランザクション制度の充実といった非化石価値取引市場の見直し議論がされているところだ。以上のように、非化石証書は、そうしたニーズに応えるための重要な役割を担っていることである。

2021新入社員大解剖!

新入社員が入社し、はや2か月となりますが、各職場で様々なサポートを受けながら、仕事に励んでいると思います。今回は、2021年度新入社員の人柄や仕事に対する姿勢、先輩社員の皆さんへの思い等を知っていただくために、アンケート企画を実施しました。(回答者数:113名)

広報室新入社員の立石です!コロナ禍でなかなか従業員同士の交流がない状況ですが、ぜひこちらのページをご参考に、新入社員とのコミュニケーションをとってください!



先輩社員にお願い!

質問攻めにも対応していただくと幸いです。

ゴルフに誘ってほしい!

コロナが落ち着いたら飲み会したいです!!

優しく教えてほしい。ほったらかしでも嫌だけど、全部やってくれるのも嫌。

話しかけていい時とダメな時の意思表示が欲しい!(イヤホン、表示板など)

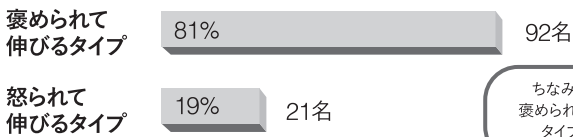
人見知りするのでこちらから話しかけることをためらってしまいますが、たくさんお話ししたいです!

なるべく早く戦力になるので、雰囲気は優しく、内容はピンポイントでお願いします!!

お昼ご飯を一緒に食べたいです。

まだ緊張してしまうので、どんどんいじってほしいです。

? 褒められて伸びるタイプ or 怒られて伸びるタイプ



ちなみに私は褒められて伸びるタイプです

「次も頑張ろうという気持ちになる」などの理由で「褒められて伸びるタイプ」という回答が大半を占めました。一方で、「褒められたら調子に乗ってしまう」「自分を過大評価してしまう」という意見もありました。



? 同期にはどのような人が多い?



以上の回答が多くみられました。他には「自分の考えをしっかりと持ちつつ、周りの考えを否定せずに受け止められる人」「何かこだわりを持っている」「体育会系」などの回答もありました。

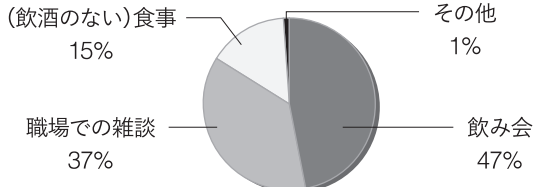
? 社会人になって始めたいこと(複数回答可)

- 運動 70名 (ゴルフ、ジムに通う、筋トレ…)
- 自己啓発・勉強 36名 (読書、資格勉強、新聞を読む…)
- 生活習慣 15名 (早寝早起き、朝活、朝ごはんを食べる…)



「運動」という回答が大半を占めました。ゴルフなど、社会人らしい趣味を始めたいという人が多かったため、先輩社員の皆さん、ぜひ教えてください。その他回答:「料理」「釣り」「おいしいお酒を飲む」「ドライブ」「シルバニアファミリー」「禅」

? 上司とはどういう場でコミュニケーションを取りたいか?



約半数が「飲み会」と回答しました。今はしっかり感染予防対策をしてコロナに打ち勝ち、また笑顔で気兼ねなく飲みニケーションできる日が待ち遠しいですね。一方職場での雑談を好む新入社員も多いようなので、日頃から積極的に交流してもらえると嬉しいです!

? 入社を決め手は?(複数回答可/2個まで)

- 1位 社会に貢献できる仕事ができると思ったから 56名
- 2位 従業員の皆さんが魅力的だったから 53名
- 3位 ・電力業界に興味があったから 38名
・関西の企業だから

約半数が「社会に貢献できる仕事ができると思ったから」「従業員の皆さんが魅力的だったから」と回答しました。その他にはインターンがきっかけという回答もありました。

? 理想の上司は?(敬称略)

男性編	女性編
1位 内村光良 8名	1位 水ト麻美 14名
2位 イチロー 7名	2位 天海祐希 13名
2位 西島秀俊 7名	3位 米倉涼子 9名

その他回答:「櫻井翔」「大泉洋」「矢野燿大」「石原さとみ」「いとうあさこ」「吉田羊」等

社会人になって…

楽しみなこと

- お給料で自由に買い物ができること
- 仕事でのスキル向上による成長の実感
- たくさんの人との出会い
- いくつか訪れる飲み会

不安なこと

- 保険や貯蓄について
- 失礼な行動をとってしまわないか
- いくつか寝坊をするんじゃないか…
- 結婚できるのか

勤続10・20・30年を迎えて

本記事上部で、新入社員の皆さんのフレッシュなコメントを取り上げましたが、この4月に勤続10年、20年、30年を迎えられた先輩社員の方々にも全社共通ポータルサイトにてコメントを募集しました。会社に対する想いや仕事のやりがい等について、たくさんのコメントをいただきましたので、ご紹介します。

勤続10年 入社時のできごと(2011)

- 東日本大震災発生
- 2011 FIFA女子ワールドカップドイツ大会で、サッカー日本女子代表が初優勝



Q1 これからチャレンジしていきたいこと

脱炭素社会のリーディングカンパニーとして関電が選ばれるように、お客さまに近い立場で提案したい。

中堅層の立場として率先して業務をまい進し、業務でムダがあればこれまでの考え方や方法をカイゼンし業務効率化を目指したい。

Q2 後輩社員に伝えたいことはありますか

会社を取り巻く環境は大きく変わっています。自身の業務に関係ないと思われるような内容も将来自分事となる可能性もあるため、自身の業務に限らずアンテナを張って知識・経験の習得を目指しましょう。

周囲に惑わされず自分は何を大事にしたいのかを考えて、仕事もプライベートも充実させてほしい。そして、関電だけでなく家族、地域社会、世界に貢献できる社会人であってほしい。

Q3 会社に対する思いを教えてください

経営層がどれくらい強い思いをもって会社を変えたいと思うか。それに比べられる、ついてくる従業員はいっぱいいると思うので全従業員にわかりやすいリーダーシップを発揮してほしい。

自分の人生の半分を捧げる会社になると思うので、熟年カップルのような関係でいられたらと思います。

私たちの世代は震災直後の入社組で、厳しい経営環境の中で会社生活を過ごしてきました。だからこそ自分たちが会社を盛り上げていきたいという思いを持っています。

勤続20年 入社時のできごと(2001)

- ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園
- アメリカ同時多発テロ事件



Q1 会社の好きなところはございますか

何年か一度、必ず大きな問題や事故が起きて、そのたびに世間からお叱りを受けて、それでもまた何とか立ち直って、というのを繰り返しながら、それでもやはり世の中の役に立ちたい、前に進みたい、という思いを持って皆で頑張っていくところでしょうか。

従業員一人ひとりが、それぞれの持ち場で、電力の安定供給という使命を全うしているところ。

守るべき伝統は守りつつ、新たなことに積極的に挑戦するところ。

Q2 どのような時、仕事にやりがいを感じますか

社会の皆さまにとって喜ばれる目標に向けて、職場が丸となり頑張っている時。

自分自身の手で、今までのやり方を変え、新しい仕組みを取り入れた時。

困難な仕事でも、悩み、考え抜き、最後まで逃げずにやり切った時。

Q3 会社に対する思いを教えてください

お客さまから一番多い言葉は「関西電力のサービスなら安心」。それが今後も続く会社であってほしい。

20年もの間、会社に育ててもらったという思いが強い。お客さまや社会のため、会社のために何ができるのか、どうやって貢献できるのか、会社の存在意義も含めて見つめなおし、これまでの恩返しの意味も込めて、これまで以上に業務にまい進したい。また、若手とそういった思いも共有しながら、様々なことを若手に伝えていきたい。

勤続30年 入社時のできごと(1991)

- 湾岸戦争勃発
- 若貴ブーム、横綱千代の富士引退



Q1 会社で働いてきてよかったと思えること

(美浜の事故直後に入社し、)電力業界の大きな転換期であったので、変化への対応は大変でしたが、その分学ぶ機会も増えて成長できたと思います。また、様々な職場で上司や同僚、後輩、また社外の方々とかかわることができたのは財産になっています。

地図に残る仕事ができ、家族に仕事の内容を説明できたこと。

お客さまをはじめ、社内でもたくさんの人との繋がりを持てたこと。人の役に立つ仕事が出来ていると実感できていること。

Q2 若手社員に期待することはありますか

縦割りの垣根が未だに根強いところがあります。各部門の得意分野を活かしながらスケールメリットを生みだして、関電ファンの拡大という変革を期待します。

自由かつ柔軟な発想を意見提起して欲しい。お客さまの声や現場の声をもっと反映できる会社経営に携わってほしい。次世代を担う子供たちの未来のことを考えて改善してほしい。

Q3 会社に対する思いを教えてください

勤続30年を迎え、入社して良かったと思っています。今年入社した新入社員も、30年後も入社して良かったと思える会社であってほしい。

この30年でも社会、会社は変化しましたが、今後はその変化の速度も、大きさも今までは比べ物にならないと感じます。従業員の団結力で新たな時代に立ち向かって行くしか無いと思います。残り10年弱ですが、精一杯務めます。

古い形式にこだわらずに、他社の良いところを積極的に取り入れてほしい。

▼大リーグの大谷翔平選手が二刀流で全米を熱狂させている。ゴルフの松山英樹選手は日本人初のマスターズ制覇を成し遂げた。ここに至るまでの彼らの努力は想像を絶するものであろう。

▼今から70年前の5月1日、関西電力は発足した。70年の歴史を振り返ると、深刻な電力不足に直面する中で難工事に挑んだ黒部川第四発電所建設、原子力の平和利用という人類の課題に挑んだ美浜発電所建設等、幾度となく挑戦を続けてきた。その陰には、大谷選手や松山選手のようなスーパースターがいたわけではなく、いが、たゆまぬ努力を重ね、最適解を懸命に考え続ける先人たちがいた。

▼決して平坦ではなかった、先人や我々が歩んできた道のりに、誇りと自信を持って、新たな未来を切り拓いていきたい。「あたりまえ」を守り、創る。我々の果たすべき責務は大きい。「いくつもの日々を越えて、辿り着いた今がある。だからもう迷わずに進めばいい。栄光の架橋へ」と、こんな歌詞を思い出しながら。

※出典:「栄光の架橋」作詞作曲:北川悠仁

編集者のつぶやき